

平成 21 年 9 月 29 日

武庫川流域委員会
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会
委員 伊藤益義

第 92 回運営委員会提案

前回の運営委員会で報告しました J R 西日本の廃線跡閉鎖問題は、8 月 21 日に宝塚市(公園緑地課)に口頭申し入れがなされ、宝塚市は桜の園があり、長尾山第 1 トンネルの出口までを無償貸与を受けており、桜の園への来訪者は廃線跡とセットの来訪者が多いことから困るので、関係者の意見を十分に聞いてから実施の可否を決めるよう回答しています。

西宮市は市長が閉鎖を了解したとのことで、もし実現すれば宝塚市側だけの利用になり、廃線跡ハイキング道の意義は大きく減退します。

兵庫県としてもこの問題につきましては下記理由により重大な関心を示して、J R 西日本及び流域市にも十分な対応も行っていただきたい。

J R 西日本は現在西宮市側と第 2 武庫川橋梁から第 1 長尾山トンネル入口の間に安全対策と思われる鉄道工事を施工中です。

記

- 1 . 武庫川溪谷廃線跡は昭和 61 年新線切り替え後、これまで県民のリクリエーションの場として利用されてきている。これらは J R 西日本の看板のとおり「自己責任で」の利用である。
利用者は推定年間約 3 万人、内桜の園は約 1 万人と考えている。
- 2 . 「兵庫県の貴重な自然」では武庫川溪谷は景観で B ランク、成り立ちで B ランク、地質で C ランク、植物群落でサツキなどが A ランクとなっているが、これらの観察ができなくなる。特に景観は観察されることに意味がある。
- 3 . 武庫川流域委員会での兵庫県の説明ではダムが出来てもハイキング道は残すとあった。
- 4 . 廃線跡は兵庫県の日本海と瀬戸内海を結ぶ「ふるさと桜づつみ回廊」の一部で宝塚市側は平成 12 年に完成しているが、この効果も半減する。J R 西日本は今回の整備で廃線跡にあった実生の山桜をほとんど残しているの、さくら回廊が出来上る。
- 5 . 武庫川溪谷は土砂崩壊が起こりやすく、武庫川の管理道路として必要である。
武庫川上流浄化センターより下流の廃線跡が建設業者の資材置場(北神吉田建設の碎石置場)に使用されているように他用途に転用される可能性もあり、問題である。なお、この区間には左岸に県道がある。
- 6 . 県下で定期的に行われている川の環境調査ができなくなる。

以上

いつでも閉鎖が可能な
状態 090925
(北山第1トンネル
入口)



同 090925
(第2 武庫川橋梁北詰)

